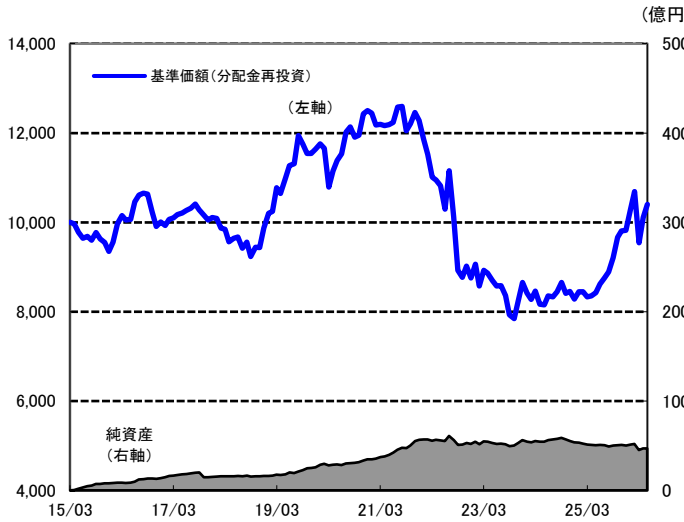


運用実績

2026年5月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,388 円

※分配金控除後

純資産総額 46.9億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	2.9%
3カ月	-2.6%
6カ月	6.1%
1年	23.5%
3年	19.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2025年12月	0 円
2024年12月	0 円
2023年12月	0 円
2022年12月	0 円
2021年12月	5 円

設定来 4.1%

設定来累計 20 円

設定来=2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ノムラスマートプレミアムマザーファンドの資産内容

2026年5月29日 現在

資産別配分(純資産比)

		現物	先物	合計
株式	先進国株式	13.7%	37.2%	50.9%
	日本	0.0%	8.1%	8.1%
	北米	13.7%	18.8%	32.5%
	欧州	0.0%	8.5%	8.5%
	アジア(除く日本)	0.0%	1.7%	1.7%
	その他	0.0%	-	0.0%
	新興国株式	0.3%	7.8%	8.1%
債券	先進国債券	11.7%	112.8%	124.5%
	日本	0.0%	-17.5%	-17.5%
	北米	0.0%	51.4%	51.4%
	欧州	11.7%	72.9%	84.6%
	アジア(除く日本)	0.0%	6.1%	6.1%
	新興国債券	19.4%	-	19.4%
	物価連動債	6.4%	-	6.4%
	事業債等	7.2%	-	7.2%
リート	6.2%	-	6.2%	
商品	11.8%	-	11.8%	
短期金融資産	23.3%	-	23.3%	
合計	100.0%	157.9%	257.9%	

- ・先進国、新興国の区分は野村アセットマネジメントによるものです。
- ・株式、新興国債券、物価連動債、事業債、リート、商品への投資はETFを含みます。

実質通貨配分(純資産比)

先進国	
円	49.5%
米国ドル	33.7%
カナダドル	5.0%
ユーロ	8.3%
イギリスポンド	2.2%
オーストラリアドル	3.7%
スイスフラン	0.1%
スウェーデンクローナ	-0.0%
ノルウェークローネ	0.9%
その他	-20.6%
新興国	17.2%
合計	100.0%

・実質通貨配分は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
・その他には、米国ドル建てETFを含みます。
・新興国には、現地通貨建て新興国国債ETF、新興国株式指数先物、台湾株式指数先物の投資比率を含みます。

リスク特性値

デュレーション	6.2年
---------	------

・デュレーションは、組入債券(現金を含む)のデュレーションを、その組入比率で加重平均したものです。
野村アセットマネジメントによる推計値です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、株式、債券およびREIT等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落、金利変動等による組入債券の価格下落、組入REITの価格下落や、組入株式の発行会社、組入債券の発行体および組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、実質的な取引対象とする商品等取引固有の要因により、基準価額が下落することがあります。また、世界各国の株式・債券・REIT・商品・通貨等への実質的な投資によるロング・ポジション、あるいは有価証券先物取引等および為替予約取引等の売り建てによるショート・ポジションを構築することにより、実質的な投資対象市場の方向性によらず収益の獲得を目指しますので、実質的な投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。また、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、基本報酬額に成功報酬額を加算して得た額とします。 【基本報酬額】 ファンドの純資産総額に年0.99%(税抜年0.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ※ファンドが実質的に投資対象とする上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示していません。 【成功報酬額】 運用実績に応じた額(一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値を更新している場合のみ)とします。 ※成功報酬額は運用実績により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

＜受付時間＞ 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞野村アセットマネジメント株式会社

【ファンドの運用の指図を行なう者】

＜受託会社＞野村信託銀行株式会社

【ファンドの財産の保管および管理を行なう者】

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

先月の投資環境

○株式市場は日米独で上昇しました。債券市場においては、長期国債利回りが日米で上昇(価格は下落)した一方、ドイツでは低下(価格は上昇)しました。為替市場では、円が米ドルやユーロに対して上昇しました。

○株式市場は、堅調な企業決算や、景気指標や雇用関連指標といった経済指標がおおむね底堅さを示したことなどを背景に上昇しました。債券市場では、4月の米CPI(消費者物価指数)の前年同月比が市場予想を上回ったことからFRB(米連邦準備制度理事会)による金融引き締めが意識されたことや、日本では政府のエネルギー価格高騰への対応で補正予算を通じた財政支出拡大懸念が意識されたことなどを背景に債券利回りが上昇しました。ただし、中東情勢を巡る協議進展への期待から原油価格が下落し、インフレ率の再加速への懸念が和らいだことを背景に、月末にかけては債券利回りが世界的に低下する動きが見られました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

月間の基準価額騰落率(分配金再投資)は、+2.93%でした。寄与の内訳は、株式+2.96%、債券+0.63%、為替-0.11%、オルタナティブ(リート・商品)-0.40%、その他要因(信託報酬・取引効果等)-0.15%です。

株式戦略では、月平均59%程度の買い持ちとした配分効果などがプラスとなりました。
債券戦略では、債券利回りが上昇した日本を売り持ちとした地域選択効果や、デュレーション※を平均7年程度とした配分効果などがプラスとなりました。
為替戦略では、対円で下落した米ドルやユーロを中心に買い持ちとした外貨選択効果がマイナスとなりました。
オルタナティブ投資では、月平均6%程度の投資比率としたリートへの投資効果や、月平均12%程度の投資比率とした商品への投資効果がともにマイナスとなりました。

- 株式： 実質組入比率は5月末時点で59.0%としました。
- 債券： デュレーションは5月末時点で6.2年としました。
- 為替： 外貨比率は5月末時点で50.5%としました。
- オルタナティブ： 投資比率は5月末時点で、リートを6.2%、商品を11.8%としました。

※デュレーションとは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

今後の運用方針 (2026年6月3日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○想定する投資環境

米国では雇用や生産等の経済指標から、実体経済は堅調に推移していると評価します。中東情勢を巡る混乱が長期化した場合の経済への影響は引き続き注視します。消費者サーベイなど一部のソフトデータには弱さがみられるものの、K字型経済(富裕層と貧困層の経済格差など経済の二極化が進む状態)の進行がうかがわれるなか、消費は高所得者層に支えられて底堅く推移すると見られます。経済全体としては潜在成長率並みの成長ペースを維持しており、景気悪化に陥る可能性は高くないと判断します。また、金融政策においても、原油価格の上昇を背景とするインフレ懸念が重しとなって、金融緩和期待は市場で高まりにくい状況であると認識するものの、賃金と物価がともに上昇する局面とはなりにくいと考えられるため金融引き締め懸念が高まることは想定しません。株式、債券価格とも底堅く推移することを想定します。

- 株式： 実質組入比率を現状程度に維持する方針です。
- 債券： デュレーションを現状程度の水準に維持する方針です。日本に対しては抑制的な配分とする方針です。
- 為替： 実質外貨比率を現状程度の水準に維持する方針です。
- オルタナティブ： 商品投資において現状程度の投資比率を維持する方針です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ノムラスマートプレミアム(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。